

令和5年10月10日
大阪公立大学医学部附属病院

眼内レンズの入れ間違い事例について

当院において、白内障手術を行った際に、誤ったレンズを挿入したため、再手術が必要になった事例が発生いたしましたことをご報告申し上げます。

この事例は、患者さんが希望したレンズとは違うレンズを医師が指示書に記載したことで発生致しました。手術後に誤りが発覚したため、当日中に正しいレンズへの入れ替え術が実施されました。その後、速やかに院内の医療安全に関する会議を開催し検討を行い、再発防止策として、挿入するレンズをレンズ指示書に記入する際にはダブルチェックを実施することを行っております。

患者さん、ご家族の方をはじめ関係者の皆様には、今回このような事態を招いたことを深くお詫び申し上げますとともに、今後の再発防止に努めて参ります。